

平成20年度科学技術振興調整費による「重要政策課題への機動的対応の推進」課題の指定について

平成20年3月13日  
総合科学技術会議

平成20年度科学技術振興調整費による「重要政策課題への機動的対応の推進」課題として、下記の課題を指定することとする。

記

| 課 題 名                                  | 内 容   | 担当府省                          |
|--|---|-------------------------------|
| 第3期科学技術基本計画のフォローアップに係る調査研究             | 第3期基本計画の後期において、効果的に施策を誘導・促進し、第3期基本計画に掲げられた科学技術システム改革等の達成状況や残された問題点等を総合的に把握するために、国内外の現状及び動向について調査・分析を行う。<br>(実施予定期間 1年)  | 文部科学省<br>(科学技術政策研究所)          |
| 社会還元加速プロジェクトに係る調査研究                    | 社会還元加速プロジェクトを効果的に遂行していくため、国内外の関連する技術開発の現状、動向及び当該プロジェクトを推進する上で必要となるシステム改革の内容等、各プロジェクトを推進していく上で基礎となる調査研究を行う。<br>(実施予定期間 1年)   | 内閣府(※)                        |
| 代替医療・統合医療の科学的評価手法確立に向けた調査研究            | 漢方、鍼灸、整体などの代替医療やこれらを西洋医学と統合した統合医療については、有効性を科学的に評価する普遍的手法が確立しておらず、これまで漢方、鍼灸、整体等について個別の評価法を検討してきた。今回これらの結果を含め、有効性に関する研究を総括し、科学的エビデンスに基づいた評価指標が確立される見込みがある具体的な研究領域を明らかにし、研究を推進すべき領域を明確化させるための調査研究を行う。<br>(実施予定期間 1年) | 仁田進一 東北大学加齢医学研究所 臨床医工学研究部門 教授 |
| 政策目標達成の実効性を高める国の研究開発マネジメントのあり方に関する調査研究 | 国費を用いて実施されている研究開発における政策目標達成の実効性向上を目的に、総合科学技術会議において研究開発マネジメントの指針作成が予定されている(2008年)。そこで、最新のマネジメント手法の分析、及び国内外の官民各機関における対象毎の実施状況や効果の調査を行い、これに基づいて国の研究開発に対する効果的なマネジメント手法のあり方を示し、指針作成の検討に資する。<br>(実施予定期間 1年)             | 内閣府(※)                        |

※担当府省において、入札により実施機関を選定し課題を実施